

十勝高等教育まちづくり会議

平成25年度の取り組み状況等について

(平成25年4月～平成26年3月)

1 十勝高等教育まちづくり会議の会議開催経過等について

■ 会議開催

- ◇ 平成25年 5月22日 ・第1回理事会開催
 - ①平成25年度総会議案
[平成24年度事業・決算・監査報告、平成25年度事業計画・予算(案)、]について
 - ②オランダ視察に係る報告について
- ◇ 平成25年 5月30日 ・第1回総会開催
 - ①平成25年度総会議案について
- ◇ 平成25年 9月11日 ・第1回企画総務部会・事業部会合同会議開催
 - 第1部 基調講演(講師:北海道大学産学連携本部特任教授 荒磯恒久氏)
演題「大学等との連携による産業振興・人材育成～新たな概念を持った高等教育・研究機関の提案」
 - 第2部 意見交換会
- ◇ 平成25年12月19日 ・第2回企画総務部会・事業部会合同会議開催
平成26年度の専門部会の体制・役員の専任、今後の取り組み・進め方、事業部会先進地視察等
- ◇ 平成26年 3月26日 ・第3回企画総務部会・事業部会合同会議開催
先進地視察報告、平成25年度 of 取組状況・事業報告、平成25年度決算(案)、
専門部会2年間の取り組み・今後の方向性、平成26年度事業計画(案)・予算(案)

■ 視察

- ◇ 平成25年 8月28日～ 8月29日 ～ 「ヒトと動物(ウマ)の絆による教育・研究・社会貢献」の検討に係る
先進地視察 ～帯広畜産大学と帯広市との合同視察～
ポニースクールかつしか(東京都葛飾区)
- ◇ 平成25年10月30日～10月30日 ～ 慶應義塾大学研究支援センター、
早稲田大学キャリアセンター、研究戦略センター、総長室訪問
- ◇ 平成26年 2月18日～ 2月19日 ～ 三重大学地域戦略センター、辻製油株式会社、有限会社二軒茶屋餅角屋本店
事業部会員2名、企画総務部会1名ほか、計8名で参加

※帯広市や帯広畜産大学整備拡充促進期成会の予算事業を含む

2 地域の発展に必要な高等教育機関に関する調査・研究等

(1) 帯広畜産大学との協議について

① 協議の場について

協議の場は、平成 17 年に締結した包括的連携協力協定に基づく連携協議会を活用し、同協議会の下に、全体企画調整を行う検討会議『地域発展に必要な高等教育の整備充実に係わる検討会議』を設置し、さらにその下に、テーマ毎に専門部会を設置し、具体的な協議、取組をすすめている。

② 主な協議・打合せ等

- ◇ 平成 25 年 4 月 16 日 ・大学COC事業に関する意見交換
- ◇ 平成 25 年 4 月 24 日 ・帯広畜産大学施設見学会
- ◇ 平成 25 年 8 月 1 日 ・帯広畜産大学長澤学長との意見交換（「ヒトと動物（ウマ）の絆による教育・研究・社会貢献」の検討）
- ◇ 平成 25 年 8 月 28 日～29 日 ・帯広畜産大学と帯広市との合同視察（ポニースクールかつしか）
- ◇ 平成 25 年 9 月 15 日 ・ちくだい馬フォーラムへの協力、座談会参加（嶋野副市長、本迫副市長、関係部参加）
- ◇ 平成 25 年 10 月 21 日 ・帯広畜産大学との嶋野副市長との意見交換（「ヒトと動物（ウマ）の絆による教育・研究・社会貢献」）
- ◇ 平成 25 年 10 月 25 日 ・帯広畜産大学小田副学長との意見情報交換会（地域連携推進センターの取り組み）
- ◇ 平成 25 年 11 月 14 日 ・帯広畜産大学との嶋野副市長との意見交換（「ヒトと動物（ウマ）の絆による教育・研究・社会貢献」）
- ◇ 平成 26 年 1 月 10 日 ・帯広畜産大学小田副学長との意見情報交換会（H26 年度の取り組み）
- ◇ 平成 26 年 2 月 14 日 ・ヒトと動物[ウマ]の絆による教育・研究・社会貢献 ワーキング会議（畜大―帯広市）
- ◇ 平成 26 年 3 月 28 日 ・帯広畜産大学と帯広市との連携協議会

※畜大との事務打ち合わせ、馬事業、動物園連携会議等は、適宜（複数回）実施。

<主な協議>

- ・ おびひろ動物園との新たな連携 ～ 平成 25 年 4 月 27 日 おびひろ動物園内に帯広畜産大学のサテライトブース開設
- ・ フードバレー人材育成事業
- ・ 地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）
- ・ ヒトと馬の絆による教育・研究・社会貢献事業

(2) ポニースクールかつしか視察・・・「ヒトと動物(ウマ)の絆による教育・研究・社会貢献」の検討

◇ 帯広畜産大学が実施を予定している「ヒトと動物(ウマ)の絆による教育・研究・社会貢献」は、平成25年2月22日の帯広畜産大学と帯広市との連携協議会において、平成25年度に連携して検討していくことを確認しており、福祉や教育など帯広市の各種施策を推進するにあたっても有意義であると考えられることから、同種の事業を実施している先進地を視察調査し、今後の事業展開の参考としたものである。

◇ メンバー・日程等

- ・参加者 14名(帯広畜産大学4名、市職員6名、帯広市文化スポーツ振興財団職員1名、その他関係者3名)
- ・日 程 平成25年8月28日(水)～29日(木) 1泊2日
- ・訪問先 東京都葛飾区(ポニースクールかつしか) ※葛飾区教育委員会職員との意見交換も実施

(3) フードバレーとちか人材育成事業

○事業内容

◇ 「十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業」(文部科学省補助事業、H19～23)で培ったノウハウを活かし、チャレンジ精神等を持って企業経営、異業種参入、起業化などの企業の発展、ひいては地域の経済発展に寄与するようなリーダーシップを発揮する人材を育成する(帯広畜産大学との共同事業)。

■平成25年度カリキュラム

①アグリ・フードビジネスプランコース(入門編：5月21日～6月10日、応用編：6月25日～7月10日)

【ねらい】食・農分野で新事業を開始するために必要な基礎的・応用的知識の習得

【内容】アグリ・フードビジネスプラン講習(入門編、応用編)

【実績】入門編：参加9名、修了9名 / 応用編：参加12名、修了12名

②食品安全管理コース(初級編：2月3日～5日、入門編：9月20日～10月11日、応用編：10月25日～11月16日)

【ねらい】食品衛生管理に関する知識及び実技の段階的な習得

【内容】食品有害微生物講習(初級、上級)、食品衛生講習(入門編、応用編)

【実績】食品有害微生物講習～初級：参加5名、修了5名 / 上級：参加2名、修了2名

食品衛生講習～入門編：参加6名、修了6名 / 応用編：参加10名、修了10名

③循環型経営コース（12月12日～1月25日）

【ねらい】環境に配慮した循環型農畜産業経営に関する知識の習得

【内容】畜産廃棄物利活用、循環型農畜産業、バイオガスプラント等

【実績】自由選択講義プログラム ～ 参加延べ25名

④特別講習（一般公開）

- ・ 7月10日（水） 講師：農林水産省食品環境対策室長 長野 麻子 氏
（62名受講） テーマ：「バイオマスで地域を元気に～食品ロス削減と食品リサイクル～」
※ ほか、バイオマスに関する事例紹介あり
- ・ 7月18日（木） 講師：農事組合法人共働学舎新得農場代表 宮嶋 望 氏
（38名受講） テーマ：「自然を土台とした高品質乳製品の産業化」
- ・ 8月27日（火） 講師：北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課食品安全グループ 通山 志保 氏
（37名受講） テーマ：「北海道HACCPの取り組み」
講師：LRQA ビジネスデベロップメントグループセールスマネージャー 竹信 誠司 氏
テーマ：「食品安全マネジメントのトレンド」
- ・ 12月 9日（月） 講師：花王株式会社 品質保証部副主席 今城 敏 氏
（21名受講） テーマ：「バイヤーが求める生産管理体制と『安心・安全』の必須条件」
- ・ 2月 7日（金） 講師：帯広畜産大学客員教授 野畠 一晃 氏
（ 9名受講） テーマ：「チーズ加工実習」

⑤平成25年度報告会（2月18日（火））

講師：株式会社グロッシー代表取締役 北村 貴 氏

株式会社ノベルズ食品代表取締役 西尾 康宏 氏

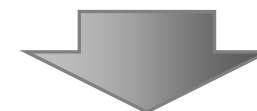
- ◇ プレイヤー研修コースを「アグリ・フードビジネスプランコース」「食品安全管理コース」「循環型経営コース」に改編し、それぞれ入門編、応用編に区分
- ◇ コーディネーター研修コースを廃止する一方、修了生のフォローアップと各産業支援機関への橋渡しを強化

■平成25年度の実施内容

	アグリ・フードビジネス プランコース	食品安全管理コース		循環型経営コース
入門	アグリ・フードビジネス プラン講習（入門編） ・十勝の農畜産業の特徴 ・起業に必要な知識の習得	食品有害微生物講習 （初級） ・食品衛生検査の 基本講座・実習	食品衛生講習（入門） ・前提条件プログラム を中心に開設	自由講義選択プログラム ・畜産廃棄物の利活用 ・循環型農畜産業 ・バイオガスプラント ・循環型農畜産業の経営
応用	アグリ・フードビジネス プラン講習（応用編） ・プロシエトマシネット手法 ・ビジネスプラン作成演習	食品有害微生物講習 （上級） ・食中毒病原菌の検出 方法の講義・実習	食品衛生講習（応用） ・HACCPの構築と マネジメント	



修了生のフォローアップ
各種支援機関への橋渡し



- FOODEX 等展示会に参加するなど、製品の製造から販売までを体感
- 市のものづくり総合支援補助金や他支援機関等の支援メニューにより事業化等を支援
- 競争資金の活用等による共同研究の実施

（４）帯広畜産大学と北海道大学との共同教育課程の実施

- 国際通用性の高い獣医学教育の充実を目指し、それぞれの大学が持つ優位な教育資源を活用し、魅力ある教育研究及び人材育成に取り組むもの。平成23年10月に両大学が協定書に調印し、平成24年4月から共同獣医学課程を設置。

○平成25年4月

北海道大学にて講義を実施。

○平成25年8月19日～8月24日 共同獣医学課程の合同演習を両大学で開講

(5) 「地（知）の拠点整備事業」（大学COC事業）の申請

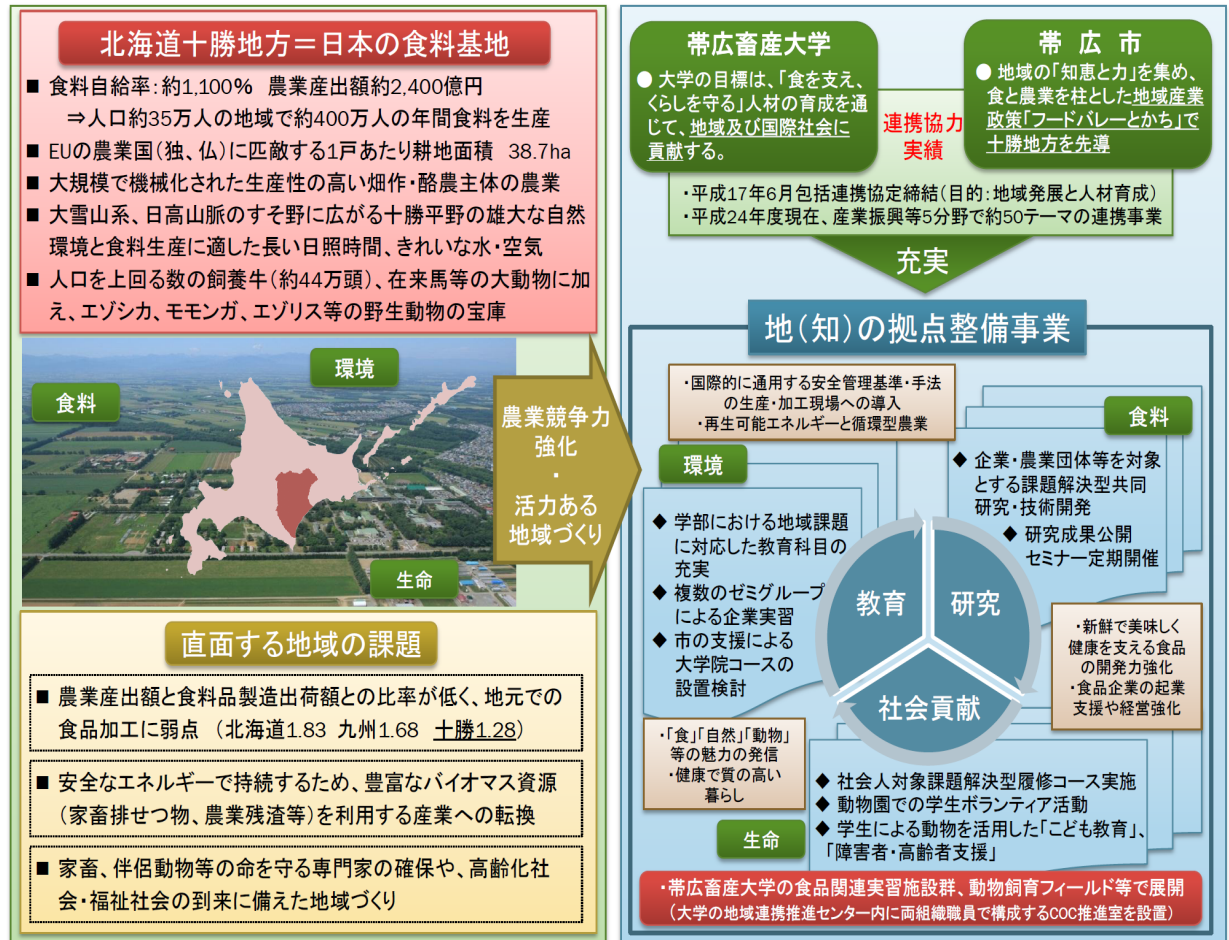
○ 文部科学省の補助事業である「地（知）の拠点整備事業」（大学COC事業）を活用し、帯広畜産大学と地域（帯広市）が連携して「食料・環境・生命が調和する恵み豊かな産業地域〈とちかち〉の形成」事業を申請（H25.5）。

○ 全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的。

⇒ H25. 8月不採択

※文部科学省補助事業の有無に関わらず、同考えをベースに、取り組みを検討する。

「食料」「環境」「生命」が調和する恵み豊かな産業地域〈とちかち〉の形成 地（知）の拠点整備事業



(6) その他

① 国立大学改革プランに係る畜大学長コメント ～ 平成25年11月26日プラン公表を受けて

帯広畜産大学は、我が国唯一の国立農学系単科大学として、獣医学分野と農畜産学分野を融合した大学院教育、国際水準の獣医学教育等、農学分野の教育改革に取り組んできました。今後とも大学の機能強化、国際化を一層進め、「食を支え、暮らしを守る」グローバル人材の育成により、地域及び国際社会に貢献します。

② ヒトと馬の絆による教育・研究・社会貢献事業の検討

- 畜大、関係部参加によるWG設置、検討。

「ヒトと動物（ウマ）の絆による教育・研究・社会貢献」取組概要



③ 帯広畜産大学の主な動き（平成25年度）

- ◆ 平成25年 4月 1日 「獣医学教育国際認証推進室」設置
- ◆ 平成25年 4月19日 寄附講座「バレイショ遺伝資源開発学講座」開設
- ◆ 平成25年 4月27日 おびひろ動物園内に帯広畜産大学サテライトオープン
- ◆ 平成25年 5月16日 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）の新規研究課題に採択
- ◆ 平成25年 9月26日 地方独立行政法人北海道立総合研究機構との連携・協力に関する協定締結
- ◆ 平成25年10月22日 ジャガイモの研究を目的とする温室棟贈呈
- ◆ 平成25年11月 7日 平成25年度文部科学省・科学技術人材育成費補助事業「テニュアトラック普及・定着事業（個人選抜型）」採択
- ◆ 平成25年12月 2日 米国コーネル大学と学術交流協定を締結
- ◆ 平成26年 2月28日 道内国立6大学との教養教育単位互換及び入学前留学生教育の実施に関する協定を締結

<平成25年3月以前>

- ◆平成21年 7月 6日 よつ葉乳業株式会社との包括連携協定
- ◆平成22年 3月 1日 株式会社 Thket 社と包括連携協定
- ◆平成22年 3月29日 更別農業高等学校と連携協定
- ◆平成22年 4月 8日 独立行政法人国際協力機構と連携協定
- ◆平成22年 7月29日 帯広市動物園との連携協定
- ◆平成23年10月 8日 北海道大学との「共同獣医学課程」協定
- ◆平成24年 4月17日 帯広市との「フードバレーととかち人材育成事業」の共同事業契約締結
- ◆平成24年 9月26日 敷島製パン株式会社と包括連携協定
- ◆平成24年10月 2日 カルビー株式会社と包括連携協定(H25.4.19 寄附講座開設)
- ◆平成24年11月 7日 白寿生科学研究所寄附講座「生命平衡科学講座」開設
- ◆平成24年12月14日 製パン実験施設(とかち夢パン工房)完成
- ◆平成24年12月19日 タイ王国チェンマイ大学と学術交流協定
- ◆平成25年 1月24日 帯広信用金庫・とかち財団と共同研究契約を締結
- ◆平成25年 2月 HACCP 準拠の食品加工実習施設完成
- ◆平成25年 2月22日 「欧米水準の獣医学教育実施体制構築」国の事業採択

3 慶応義塾大学アグリゼミ 十勝視察

- 慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科アグリゼミの十勝視察。十勝管内の農場や農業関連施設を視察。農業者や帯広畜産大生との意見交換、「また来たくなる」をテーマとしたワークショップなどを実施。

○日 時：平成25年8月26日～8月29日（3泊4日）

○参 加：SDM 研究科 農都共生ラボ担当の林美香子特任教授と前野隆司教授、大学院生7名

4 早稲田大学インターンシップ受入事業

(1) 事業目的

早稲田大学の学生をインターンシップの学生として受入することにより、帯広・十勝への理解を深めることを目的とする。

(2) 平成25年度受入登録機関

- ① JICA北海道（帯広） ② 帯広市（農政課ほか）

(3) 平成25年度受入実績 2名

- ① JICA北海道（帯広） 国際教養学部3年 8月5日～8月16日
② 帯広市農政課（農業技術センター） 政治経済学部3年 9月2日～9月13日

(4) 過去の受入実績 (平成21年度～)

① 平成21年度受入実績 3名

◇ JICA帯広国際センター (2名)

◇ 帯広市役所農政課 農業技術センター (1名)

- 法学部 3年 8月2日～8月17日
- 政経学部 3年 8月6日～8月19日
- 政経学部 3年 9月3日～9月24日

② 平成22年度受入実績 1名

◇ JICA帯広国際センター (1名)

- 文学部 3年 8月6日～8月19日

③ 平成23年度受入実績 1名

◇ JICA帯広国際センター (1名)

- 創造理工学部 3年 8月8日～8月19日 (市と共同受入)

④ 平成24年度受入実績 3名

◇ JICA北海道 (帯広)

◇ とかち財団

◇ 帯広市農政課 (農業技術センター)

- 文化構想学部 3年 8月6日～8月17日
- 法学部 3年 8月27日～9月7日
- 法学部 3年 9月10日～9月23日

5 星槎大学帯広サテライト(学校法人 国際学園)の展開

(1) 開校日 平成21年10月1日

(2) 設置場所 帯広経済センタービル3階(西3南9)

(3) 事業概要

- ◇ 教育支援やフリースクール事業(高校の中途退学者、小中学校の不登校児童生徒、特別支援教育の必要な児童等)
- ◇ 生涯学習事業(市民対象)や国際交流・国際理解に係る講座の開設
- ◇ 教員免許更新講習の実施

(4) 地域貢献事業等

- ◇ 東日本大震災復興支援事業「北の大地に会いに行こう」2013夏
～福島県相馬市の児童20名の受入(平成25年7月27日～8月5日:10日間)
- ◇ 第2回学校祭～まちなかにぎわい祭り～in 帯広星槎祭の開催(平成25年9月14日)～中心市街地のにぎわい創出に貢献
- ◇ おびひろ文化体験事業の実施(帯広市・帯広市教育委員会共催、毎年年明け1回)

(5) おびひろ地域若者サポートステーション

- ◇ 平成23年6月2日、帯広信用金庫第3ビル内に開設。
- ◇ 学校法人国際学園が厚生労働省から受託。同サテライトが運営。
- ◇ 悩みを抱える若者(15～39歳)が就労に向かえるような支援を行う。
- ◇ 道内では札幌、旭川、釧路、函館、苫小牧、帯広、北見、岩見沢に設置されている。
- ◇ 管内のニート・ひきこもりの若者(平成22年3月)は2,600人。
平成25年度は延2,938人が利用し85名が進路決定(平成26年1月末時点)。